



懸け橋

練馬区立石神井西中学校
学校だより 第10号
平成31年2月19日
校長 松丸 晴美

「授業が変われば、生徒が変わる」

暦の上では春になりましたが、底冷えのする寒い日が続いています。そのような中、今月8日（金）に、都と区の研究指定を受け、本校が2年間かけて取り組んできた『よりよく生きるための力を育む「特別の教科 道徳』』の研究発表会を開催しました。北風の吹く非常に寒い日でしたが、多くの保護者の皆様に、都内各学校から来校した先生方の道案内や受付・誘導などをお手伝いいただき本当に有り難うございました。

「道徳」は、子供たちのいじめ問題を始めとする解決が困難な問題に主体的に対処する力を育むことを主たるねらいとして、この4月から「特別の教科」になります。中学校で教科指導をするには、専門の教員免許状が必要ですが道徳には免許状がありません。そのせいか、教科に比べて今ひとつ自信や授業研究に力が入らず、教員の一方的な説話や教材の登場人物の心情理解が中心の授業になってしまいがちでした。

生徒にとっても、わかりきったことを書き、話しを聞くだけのあまり新鮮さや楽しさを感じられない授業になっている実態がありました。

本校では、これまでの認識を大きく転換し、「教師の語り」が中心ではなく、生徒が「道徳的な問題について自ら考え、相互に議論して多様な価値観と向き合い、自分の考えを深める」時間にするには、どのように授業を改善していけばよいか、全校をあげて講師の先生から学び試行錯誤を繰り返した2年間でした。

そして、研究を通して、授業を設計する指針となる「石西メソッド」の開発と学級担任以外の教員が交代で授業する「ローテーション授業」の導入が効果的であるという仮説に至りました。

この仮説を立証すべく実践的な研究に取り組

んだ結果、先日の公開授業を参観した先生方からは、「どの生徒も大変よく考え、ワークシートに記入している姿がみられた」「中学生でこれほど活発に議論し合えるなんて素晴らしい」「突然の指名にも堂々と発表している」といった感想がたくさん寄せられました。

下記の生徒アンケート結果からも、授業が変わり、生徒も変容していることがわかります。

(%の数字は各質問に対する肯定的評価の割合)



“道徳の授業では、自分の考えを発表する機会がよくある。”

+39.2pt ↑



“道徳の授業では、話し合う活動をよく行っていると思う。”

+48.8pt ↑



“道徳の授業で考えたことや他の人の考えを聞いたことが、役立っている。”

+11.6pt ↑

＋の数字は、昨年6月と比較し、肯定的評価が増した割合

一方、教員も「生徒の様々な考えを聞ける道徳の授業は楽しみ」「授業に自信がもてるようになった」と、苦労はしましたが、研究に取り組んだことが指導力の向上につながったことを実感しているようです。

道徳の授業で培った生徒の「考え、議論する」力はすべての教科で汎用できる力であり、生徒の確かな学力の向上と深く関連するものであると考えます。

授業改善の次の目標は、「道徳」の授業を通して、生徒たちの「よりよく生きる力」を育てていくことです。生徒一人一人のよさを伸ばし、成長を促すための評価の在り方についても、今後研究を深めていきたいと思ひます。

スキー移動教室を終えて

2学年担当 近藤 美咲



1月23日(水)～26日(土)の3泊4日で、2年生はスキー移動教室に行ってきました。学級委員が実行委員となり、11月中旬から準備をしてきました。実行委員の生徒たちがスローガンを考え、持ち物やルールの検討を各クラスで行いました。また、レク大会の企画は体育委員が行うなど、生徒が主体的に活動し、この行事を創りあげることができたと思っています。2年生最大の行事とい

うことで、学年みんなの気持ちも徐々に盛り上がり、当日に近づくにつれて楽しみにしている様子が伝わってきました。

本番の4日間とはとにかく天気に恵まれ、最終日には素晴らしい景色を眺めながら滑ることができました。吹雪の中でのスキーなど、自然の厳しさも体験させたいと考えていましたが、生徒たちにとっては最高のコンディションでの実習となりました。いつか、またスキーやスノーボードに行ったとき、「こんな寒い!?こんなに視界が見えにくい!?」と感じてしまうかもしれません。



インフルエンザ等による体調不良者が出て、複数の保護者の方に迎えに来ていただきました。ご協力に大変感謝しております。残念ながら途中で帰京する生徒がいる中でも、大きな混乱もなく、生徒たちはしおりの予定に従ってきちんと行動することができました。生徒たちの作文やしおりを見ると、スキーができるようになった喜びが書かれているのですが、それ以上に、友達と過ごした時間や新たに誰かと仲良くなれたことへの喜びが書かれていました。「スキー」が思い出になった訳ではなく、「スキーと一緒にいった友達との時間」が大きな思い出となったようです。そのことに生徒たち自身も気付いているようで、「残りの2年生のクラスの時間を大切にしたい。」と作文に書いていた生徒がいました。

落とし物や忘れ物があったり部屋が散らかっていたり小さな課題はあるものの、お互いが助け合い、周囲のことを考えて行動するなど、全体的にはとても良く頑張った4日間でした。時間に余裕をもって行動すること、あらかじめ先の予定を把握しておくことの大切さを特に学んだと思います。今後の学校生活にも活かし、3年生になるまでのあと少しの時間を有意義に過ごしてほしいと思います。



レク大会(ダンス)

平成 30 年度 展示会 (2 / 9)

1 年生作品



■美術科 上ばきのデッサン



■技術科 棚



■理科 自由研究

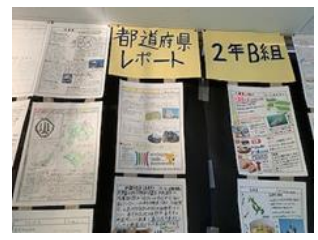
2 年生作品



■技術科 LED スタンド



■美術科 木彫時計



■社会科 都道府県調べ

3 年生作品



■OT 修学旅行しおり



■英語科 修学旅行新聞



■技術科 キーホルダー



■国語科 「○○のようなひと」



■美術科 パソコンによるデザイン



■美術科 砂絵による模写

美術部作品



保護者や地域の方々に日頃の学習の成果を観ていただきました。

平成 30 年度 展示会テーマ

無 限 ～芸術に終わりはない～

部活動表彰の記録

陸上部

第57回東京都中学校ロードレース大会(1/27)

女子1年1km競走	第6位	記録3分52秒	宮川 琴音
女子1年1km競走	第3位	記録3分48秒	川崎 啓子
女子1年1km競走	第2位	記録3分52秒	宮本 美桜
女子2・3年1km競走	第1位	記録3分45秒	上田 彩月
女子2・3年1km競走	第4位	記録3分47秒	中村 愛花
女子2・3年1km競走	第2位	記録3分42秒	西田 麻沙
女子2・3年1km競走	第2位	記録3分32秒	窪田 ころこ
男子1年2km競走	第2位	記録7分06秒	星野 大和
男子1年2km競走	第2位	記録6分38秒	中村 悠人
男子1年2km競走	第7位	記録7分19秒	室田 亮輔
男子1年2km競走	第8位	記録7分44秒	橋本 裕仁

(順位はレース毎のものです)



卓球部

練馬区中学校生徒総合体育大会卓球新人大会(1/13)

女子団体 準優勝 男子団体 第6位

第37回練馬区中学校学年別研修卓球大会(2/11)

2年女子シングルス 第2位 木村 菜々
1年男子シングルス 第2位 吉田 龍太



石西中生徒 活躍の記録

第58回東京都中学校書き初め紙上展

東京都中学校文化連盟会長賞 1年 川口 結愛

Dance Drill All Japan Competition 2018 EAST Japan Dance Drill Championship(12/25)

Junior-Dance Drill 部門 第1位 D-life company+Y super dlife 宮井 理彗留、鈴木 千夏
(鈴木千夏さんは、全国選手権大会 USA Nationals 2019 の出場権を獲得しました)

第10回中学生「東京駅伝」大会(2/3)

味の素スタジアムで行われた「中2の精鋭が部活動の垣根を越えてタスキを繋ぐ区市町村対抗戦」、本校からは上田彩月さんと西田麻沙さんが練馬区代表チーム選手として出場しました。上田さんが5区、西田さんが7区を走り、練馬区女子チームは9位と健闘しました。応援するために駆けつけた人たちが走路を囲み、選手たちは大声援の中を一生懸命走り抜けました。

たくさんの応援に駆けつけてくださった皆様、ありがとうございました。

